

黒

二年 画数 11
 筆順 甲 里 黒
 オン コク
 クン くら・くろ 11

成の立ち



えんとつをま上から見たかたちの「田」と、「ほのお(炎)」という字とを組み合わせてつくった字です。ほのおが、えんとつをとおって出ていくあいだに、えんとつにつく「くろい」「すす」をあらわした字です。「土」も「火」も「火」のかたちのへんかしたものです。ほかに「大」や「小」があります。いまは「いろの「くろい」」ことをあらわすのにおおくつかわれますが、「わるい(不正)」のいみにつかわれることもあります。

使い方

▽わたしは、黒板が黒くないのになぜ黒板というのかふしぎだったので、おじいちゃんにそのわけをききました。そうしたら、むかしは黒かったけれども、目のためによい色というので今のようになったのだそうです。

熟語例

▽黒字(入ったお金がつかったお金よりおおいときで、「お金がのこる」ことのいみには「黒字」ということばをつかうのです。反対の時は赤でかくので、「赤字」といいます。)

▽黒星(すもうでまけのしるしに黒いまるをつかうところから、「まけること」や「しっばい」のいみにつかいます。)

▽黒山(人がおおぜいあつまっているようすをあらわしたことばです。人のあたまが黒くかさなって見えるからです。)

▽黒白(悪(悪いこと)と善(善いこと)。不正(正しくないこと)と正義(正しいこと)。

▽暗黒時代(まっ暗な時代ということ、どうとくやぶんかがおとろえ、ちつじよがみだれた時代のこと。)

今

二年 画数 4
 筆順 ノ 八 今
 オン コン・キン
 クン いま

成の立ち



やねのかたちをあらわしたものです。やねはみなみは日がよくあたりますが、きたがわは「日かげ」になります。その「日かげ」をあらわした字です。

中国では、「日かげ」をあらわすことばをキンといいましたが、「いま」といういみのことばもキンでした。それで、「今」を「いま」といういみにつかい、「日かげ」のいみには、「雲」のかたちの「云」をつけ「雲」という字をつくりました。

「日なた」は「易」だが、「斜面」を表す「𠂔」をつけて「陽」としたように、「日かげ」を表す「𠂔」に「𠂔」をつけて「陰」とした。陽は「南側の斜面」、陰は「北側の斜面」をいう。例「山陽」、「山陰」

使い方

▽ぼくは、まえは、かずをかぞえられませんでした。でも、今は百までかぞえられます。

▽わたしは、今年、二年生になりました。あたらしい一年生が、おおぜい入ってきました。わたしは、一年生のおねえさんになったので、べんきょうや、そのほかのいろいろなことを、しっかりとやろうと、おもいます。

熟語例

▽今年(今の年。一月一日からはじまって、十二月三十一日までおわります。そのあいだにある日は、いつも今年です。十二月三十一日をすぎると「来年」の一月一日が、やってきます。「今年」の一月一日のまえの日は、「去年」の十二月三十一日です。すこし、ややこしいけれど、わかりましたか?)

▽古今(むかしと今。また、むかしから今まで。「古今東西」のいじんたちの、ものがたりを、よみましょう)といえは、「むかしから今までの、せかいじゅうのえらい人たちのおはなしをよみましょう」といういみになります。)